

2024年5月14日

各位

会社名 株式会社ダイキアキス
 代表者名 代表取締役社長 CEO・CIO 大亀 裕貴
 (コード番号：4245 東証スタンダード市場)
 問合せ先 常務取締役 COO 本田 和博
 (TEL：089-927-1122)

安心安全に使っていただける BDF の安定供給を関東地方でも開始します

株式会社ダイキアキス（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：大亀 裕貴）の 100%子会社である株式会社ダイキアキス・サステイナブル・パワー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：堀淵 昭洋）は、茨城県稲敷市にバイオディーゼル燃料（以下、BDF）の製造プラントを建設しましたのでお知らせいたします。

記

1. バイオディーゼル燃料事業の概要

① 事業について

当社グループは、「環境を守る。未来を変える。」という企業使命を達成するためにエネルギーの分野でも先進技術の開発に取り組んでおり、その一つが BDF 事業です。この事業は 2002 年から取り組んでおり、使用済み天ぷら油のリサイクル燃料（ブランド名：D・O i L[®]）を開発し、自社プラントでの製造のほか、精製プラントの製造・販売を行っています。

D・O i L[®]ブランド：

D・O i L[®]には、バイオディーゼル燃料 100%の「B100」と、B100 を軽油に 5%混合した「B5」の 2 製品があり、いずれの製品も公益法人日本環境協会が定める『廃食用油を使用したバイオディーゼル燃料 Version 1.0』においてエコマーク商品として認定されています。

製品名	特色
B100	従来の BDF よりも高純度かつ高品質なバイオディーゼル燃料であり、JIS 規格品質に対応しているため、混合軽油の混和基材としても利用可能です。
B5	「揮発油等の品質の確保等に関する法律」で規定されている軽油の強制規格を満たしているため、軽油と同様に安全かつ安心してご使用いただける燃料です。

② BDF と環境の関係

使用済み天ぷら油はそのまま廃棄すると水質汚染や土壌汚染の要因となってしまうだけでなく、排水口に流してしまうと浄化槽や排水処理システムの性能にも影響することとなります。

そのため、使用済み天ぷら油をリサイクルすることは、限りある資源を有効活用するだけでなく水環境の保全にもつながります。また、植物由来のバイオ燃料は、カーボンニュートラルの考え方により二酸化炭素 (CO2) 排出量がゼロとみなされることから、CO2 削減など「環境価値」の創出にも貢献します。

③ 使用済み天ぷら油の回収事業を通じた社会貢献

「油～モアプロジェクト」という地域と連携した「あつめる、つくる、つかう」の輪を「ひろげる」活動にも取り組んでいます。愛媛モデルでは、愛媛県内で 500 店舗を超える回収拠点があり、市民回収の輪が広がっています。また、愛媛県内の小中学校などの環境イベントに出向いて「バイオマス教室」を開催し、環境保全とリサイクルの啓発に努めています。

その他にも地域・福祉との連携として、市民の方が提供してくださった使用済み天ぷら油の回収を通じて障がい者の働く場所を創出するための取り組みも市・社会福祉協議会・障がい者関係施設等と連携して行なっています。

今後は、関東周辺の自治体や企業と連携して「油～モアプロジェクト 関東モデル」の確立を目指していきます。

油～モアプロジェクト HP：<https://www.daiki-axis.com/d-oil/>

2. プラントの概要

所在地	茨城県稲敷市	
製造能力	B100 : 12,000ℓ/月以上 B5 : 480,000ℓ/月以上	
稼働開始時期	2024年5月27日	
特色	<p>D・O i L®を使用したボイラと太陽光発電によって作ったCO2フリーの電力にて精製プラントの稼働が可能です。</p> <p>また、敷地内に非常用貯水槽を設置しており、地震などの災害時に飲料水を確保し、地域のライフラインの確保にも貢献しております。</p> <p>また、廃油回収や廃油のリサイクル事業は「汚い・臭い・過酷」といったイメージがあります。それらを根本的に変えたいという思いから、従業員の皆さんが進んで働きたいと思える職場環境になるようにデザインしました。</p>	
外観等		事務所棟
		精製プラント棟
		<p>非常用貯水槽</p> <p>※36人3日分の飲料水の確保が可能です。通常は水道管に接続されており、きれいな水が流れています。</p>

3. 関東地方における取り組み

① 現状

2002年に事業を開始した当初、関東地方においてBDF精製プラントの需要は高く、今回事業所を建設した茨城県稲敷市の近隣にあります牛久市におきましても牛久市役所に精製プラントを販売していました。その後、牛久市は近隣の市町村と共同で「バイオマス利用促進協議会」を設置し、市民から回収した使用済み天ぷら油から精製したBDFを公用車・ゴミ収集車・コミュニティバスなどにB100（バイオディーゼル燃料100%）を利用していました。

ところがここ近年、環境対策に適合した高性能ディーゼルエンジンなどの普及により、B100が使用できる車両などが少なくなり、年々、消費量が落ち込む事態となっていました。

そこで、当社は、最新のディーゼル自動車でも安心・安全に使用できるバイオ軽油「B5」の利用拡大を目指した新たな事業展開を提案した次第です。

② 今後

当社は、牛久市で製造したBDFを買い上げ、B5に加工して牛久市を始めバイオマス利用促進協議会メンバーの自治体を中心に茨城県南エリアの運送会社やバス会社、建設現場など地元企業でB5を利用いただく地域循環型の取り組みを目指していきます。

また、関東エリアの当社プラントユーザーや自治体と連携して、バイオ燃料の活用を目的とした地域に安心かつ安全なBDFやB5軽油を安定供給できる体制を整えてまいります。

以上

■本件に関するお問い合わせ

①取引先様など製品・サービスに関するお問い合わせ
株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワー
Email: dasp_contact@daiki-axis.com

②投資家様、報道関係者様からのお問い合わせ
株式会社ダイキアクシス 経営企画部
Email: ir@daiki-axis.com